



ちょっとお出かけ い〜な旅 2018 月 4 月 25 日 (水)

平成 30 年第 1 回ツアー

*行程

- ・信州みのわ花街道
- ・登内時計記念博物館
 - ・本坊酒造
- ・養命酒駒ヶ根工業

花 Run Run Run ミステリーツアー

い〜なガイドの会
い〜な旅チーム
阿部恵子

今年度第 1 回のい〜な旅は、4 月 25 日でした。前夜からの雨が残るあいにくの天気の中、伊那市役所を出発しました。ミステリー仕立ての今回は、伊那市周辺の春の花を楽しむバスハイク。行先は運転手さんとガイドさんの気分次第です。

車内では行先をクイズで予想しながら目的地に向かいます。正解数に応じて景品があるとの発表に歓声が上がります。第 1 問は「市役所前の信号を東西南北どちらに行くか？」さっそくの質問に車内が沸き立ちます。

バスは参加者の期待を乗せて国道 153 号を箕輪方面に進み途中から春日街道へ。ガイドさんから春日街道の歴史について説明を聞きながら大出の信号

を左折してアルプス花回廊を走りました。

最初の目的地は長田地区から富田地区まで 6 km に 1200 本のハナモモが植えられている「信州みのわ花街道」でした。街道沿いに鮮やかに咲いているハナモモを眺めました。晴れていれば南アルプスや中央アルプスの山々が見える道ですが、あいにく雲の中で見えません。

チューリップの花畑を眺めながら大型農道を右折して登内時計記念博物館につきました。この頃には雨も小降りになり、バスを降り干本ほど植えられているシャクナゲと、隣の記念公園にある御衣黄桜や薄紅色の八重桜を楽しみました。ちょうど見頃で素晴らしかったです。

次に向かったのは本坊酒造。工場見学の後、売店でお土産を買ってバスに戻り「いよいよ次の目的地で楽しいお昼です。次の目的地は？」とクイズを出すはずのガイドさんが、うっかり「次は養命酒で楽しいお昼です」と答えを言ってしまい大笑い！

養命酒駒ヶ根工場では食事と買い物をし、新緑の中で古代の住居跡や咲き始めたツツジなどを楽しみました。その後は工場見学です。敷地の斜面を使って工場が造られ、高低差を利用して上から順番に原液が流れる仕組みになっていることなどを興味深くお聞きし、さまざまな花に触れ合えた一日が終わりました。